

推進委員会・推進部会の 取り組みについて

推進委員会の目的

高知県水道ビジョンの実現方策の進捗状況や目標の達成状況、県内水道を取り巻く環境の変化等を踏まえ、**市町村の意見を踏まえながらビジョンの推進を図る。**



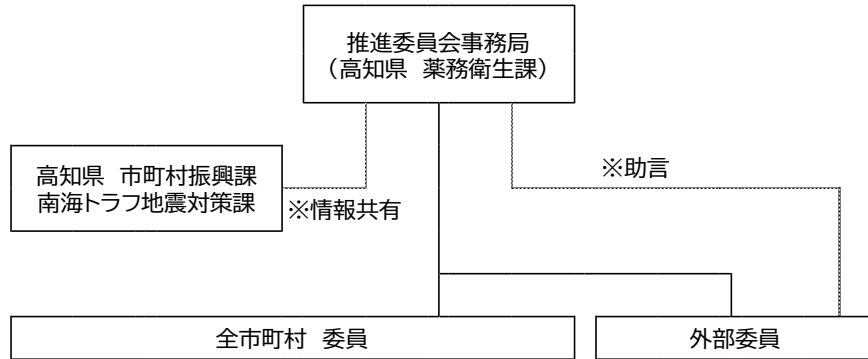
市町村及び専門委員による意見交換や圏域単位での情報交換・相互協力により進めていく。

推進委員会の運営体制

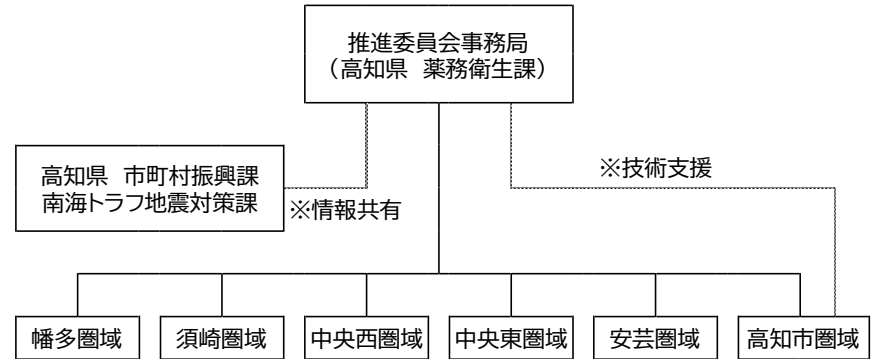
推進委員会：事務局を高知県薬務衛生課とし、県内の水道事業を運営する全ての市町村の担当課長・局長級及び専門委員により構成し、県全体で開催。

推進部会：各市町村の実務者級で構成し、圏域単位で開催。

※推進委員会での情報は、関係課と共有し、水道基盤強化の推進。



推進委員会 運営体制図



推進部会 運営体制図

推進委員会の実施内容

推進委員会、推進部会の実施内容を下表に示す。

なお、県は、本取り組みを進めていく中で、各圏域において他の市町村の状況や考えを共有し、**自発的なリーダーの自覚**が芽生えるよう取り組む。

推進委員会概要

番号	項目	内容	備考
1	スケジュール確認	各市町村の検討着手時期・達成時期の報告・共有	第1回推進委員会で確認
2	進捗確認	各圏域市町村の実現方策の進捗状況の確認	PDCA進捗管理表等の活用
3	課題の確認、共有 (全圏域)	実現方策の実施上の課題や解決策を全圏域で横断的に共有・検討	PDCA進捗管理表等の活用
4	講演会の開催	水道業界の動向・先進事例等の把握	

推進部会概要

番号	項目	内容	備考
1	進捗確認	各圏域市町村の実現方策の進捗状況の確認	PDCA進捗管理表等の活用
2	課題の確認・共有 (各圏域)	実現方策を進める上での課題・解決策を各圏域で共有・検討※1	PDCA進捗管理表等の活用
3	取り組み内容の紹介	取り組み内容の紹介及び意見交換	
4	セミナーの開催	各実現方策に関連する技術の研修	

推進委員会の開催時期・開催場所

令和3年度

番号	会議種別	開催時期	開催場所	備考
1	推進委員会	11月	高知城ホール	
2	推進部会	7月～10月	各保健所等	実施済

令和4年度以降

番号	会議種別	開催時期	開催場所	備考
1	推進委員会	9月～10月頃	高知県庁等	
2	推進部会	7月頃	各保健所等	

参考：高知県の立入検査による進捗確認

水道法改正等の趣旨を反映し、県が実施している従来の立入検査に加え、本ビジョンに掲げた取り組み状況についても併せて確認する。

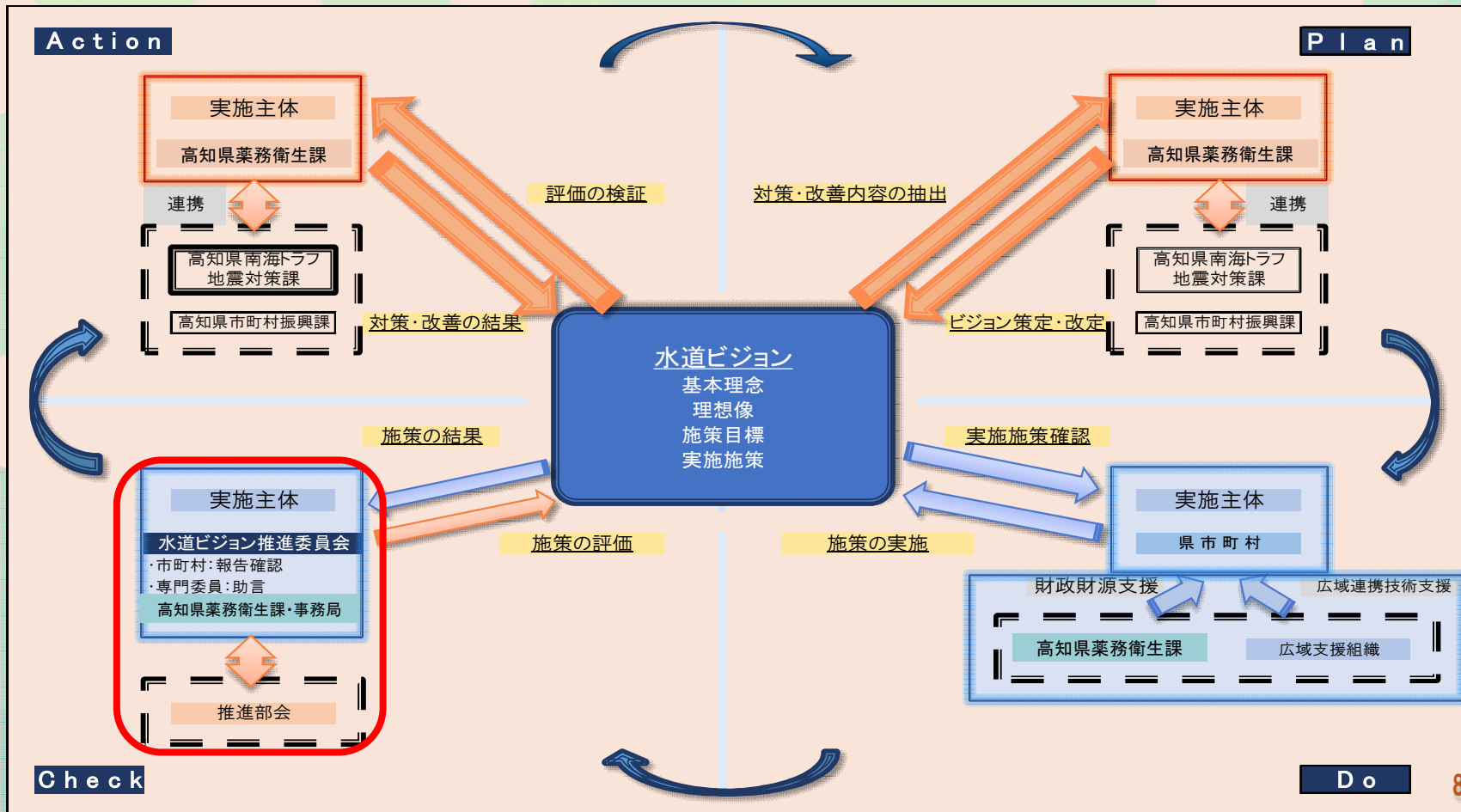
◆実施時期 毎年度 冬期頃

目標管理

実現方策	項目	策定時 現況 (R1)	中間 目標 (R6)	最終 目標 (R11)	調査名	中間評価 採用年度
＜安全＞						
作成支援ツール等を活用した水安全計画の策定	水安全計画策定率	3% (H29)※	100%	100%	水道水質関連調査	R4
クリプトスポリジウム対策等による浄水処理の適正化	クリプトスポリジウム対策実施率	69% (H29)※	100%	100%	水道水質関連調査	R4
＜強靱＞						
浄水施設・配水池・基幹管路等の耐震化	耐震化計画策定率	85% (H30)※	90%	100%	国及び県の交付金事業計画	R5
	浄水施設の耐震化率	29% (H29)※	45%	60%	水道統計	R4
	配水池の耐震化率	67% (H29)※	80%	85%	水道統計	R4
	基幹管路の耐震適合率	39% (H29)※	45%	55%	水道統計	R4
BCP簡易様式等の活用や県外受援も考慮した「水道BCP」の策定	BCP策定率	6% (H30)※	100%	100%	部会等ヒアリング	R5
＜持続＞						
水道施設台帳の整備及びシステム化の実施	水道施設台帳整備率	15% (H29)※	100%	100%	水道事業の運営に関する調査	R4
簡易支援ツール等を活用したアセットマネジメントの導入	アセットマネジメント導入率 (施設更新計画策定率)	67% (H29)※	80%	100%	水道事業の運営に関する調査	R4

※採用年度：現況の項目欄の（ ）年度は、ビジョン策定年度のR1と明記しているが、データの実際採用年度は、各データが整備された年度であり、各数値の下に（ ）書きで示している。

フォローアップの概要



進捗管理の方法

重要施策は、安全、強靱、持続で、それぞれ2施策設定しているが、それぞれ簡単にできるものばかりではない。

そこで、

- ①県が個々の施策を10段階にステップ設定。
- ②市町村が10カ年の取組計画を設定。
- ③委員会がステップに沿った進捗管理を実施。

(できたかどうかだけの進捗管理ではない)

※取組計画は、適宜見直しを図る。

各施策の進捗管理の方法

取組計画において、取組を予定にしている重要施策について、以下の内容を確認。

①現状での取組状況 (Keep)

→実施方法、費用、自己評価

②不足する取組 (Problem)

→左記の取組の課題、未達成事項による支障、自己評価

③取り組む事項 (Try)

→取組内容、実施方法、費用、完了目標年度

※詳細は、参考資料のとおり